

令和 3年度 ( 2年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	地域振興課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2278
	基本事業	コミュニティ活動拠点の整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	コミュニティセンター整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域住民によるまちづくり活動の拠点として、また、生涯学習及び地域福祉の推進に資するため、中期整備指針等に基づき施設ごとに整備の方向性をまとめた上で、コミュニティセンターの整備を行う。				
3年度概要	川岡 屋外倉庫改築等工事 ( R 2 繰越明許 ) 屋島 改築工事等 ( R 2 繰越明許含む。 ) 男木 改築工事等 ( R 2 繰越明許含む。 ) 十河 改築工事等 トイレ男女別化工事等 ( R 2 繰越明許 )				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	コミュニティセンター中期整備指針等に該当するコミュニティセンター計 2 3 館 ( 昭和 5 6 年以前に建設された旧耐震基準に基づく施設 )
意図(どのような状態にしたいか)	施設の改築等を行い、コミュニティセンターの安全性の確保と環境改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
コミュニティセンター中期整備指針等に基づく整備箇所数	館	9	10	11	12	11

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	施設整備進捗割合	%	目標値	47.3	43.4	47.8	52.1	57.8
			実績値	47.3	43.4	47.8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 施設を改修あるいは改築することで、コミュニティセンターの安全性の確保と利用環境の改善を図ることができ、目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	518,484	357,186	615,993	1,216,484
(事業費)	[円]	495,798	334,422	593,547	1,194,038
(職員人件費)	[円]	22,686	22,764	22,446	22,446

【評価】

評価ランク ( A ~ D )	A	今後の方向性 ( 拡充、継続、改善継続、縮小、廃止 )	継続
-----------------	---	-----------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

中期整備指針等に基づき、太田コミュニティセンターを始めとして計画的な整備を行い、地域のまちづくり拠点づくりに努めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

施設の老朽化に伴い、雨漏り等の修繕が年々増加していることから、改築、改築まで健全な状態で施設利用を可能とするため長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、これらを 2 本の柱とした整備計画に基づき施設整備を行う。  
そのほか、事業費の適正化・縮減とともに、財源確保にも努める。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動拠点の整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	自治会集会所整備支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域のコミュニティ活動の場となっている自治会集会所の新築、増築、改築等を行う場合に、必要な経費の一部を補助することによって、自治会活動、コミュニティ活動を促進するものである。 (一財)自治総合センターからのコミュニティセンター助成を活用が図れるよう実施していく。				
3年度概要	自治会集会所新築等補助金 コミュニティセンター助成( (一財)自治総合センターからの助成)				
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	自治会
意図(どのような状態にしたいか)	集会所の整備を促進し、地域住民の福祉の向上を図ることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
補助件数	件	13	8	11	13	13

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	自治会集会所整備率	%	目標値	36.3	36.3	36.3	36.3	36.3
	実績値	35.6	35.7	35.9				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	自治会集会所の新築・改築については、目標をほぼ達成している。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	29,923	10,461	23,030	21,009
(事業費)	[千円]	27,654	8,185	12,555	10,534
(職員人件費)	[千円]	2,269	2,276	10,475	10,475

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

自治会集会所の新築及び改修の申請件数は目標値に近づいており、自治会活動の拠点となる集会所は、災害時の一時避難所としても活用されており、今後も継続的な支援が必要であるため、補助対象工事や補助率などの見直しや、他の助成金を有効活用しながら支援することが必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

事業予算の平準化に留意しながら、集会所整備の円滑な推進に努める。  
新築案件については、(一財)自治総合センターからのコミュニティセンター助成の活用を視野に入れながら、更なる集会所整備の推進を行う。